

アクションプランだより -1回目-

令和8年8月20日
氷見市立窪小学校

1回目の、アクションプランのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
結果をまとめましたので、ご覧ください。

アクションプラン1「家庭学習の充実・習慣化」

<達成目標>

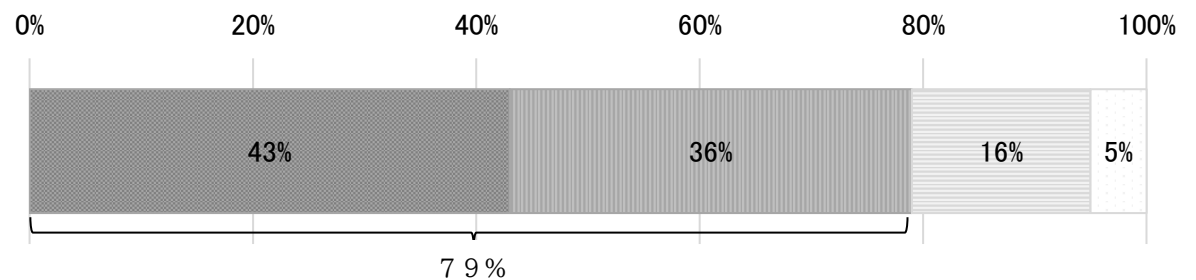
各学年の目標の家庭学習時間(学年×10分)を達成する子供が80%以上

<子供>

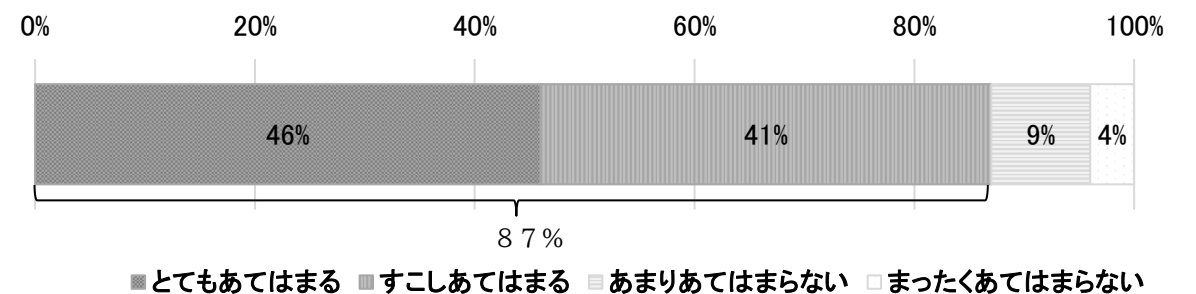
- ① 家庭学習頑張り週間に、学年×10分以上の家庭学習に取り組むことができましたか。

<1学期>

とてもあてはまる … 5・6日間
すこしあてはまる … 3・4日間
あまりあてはまらない … 1・2日間
まったくあてはまらない … 0日

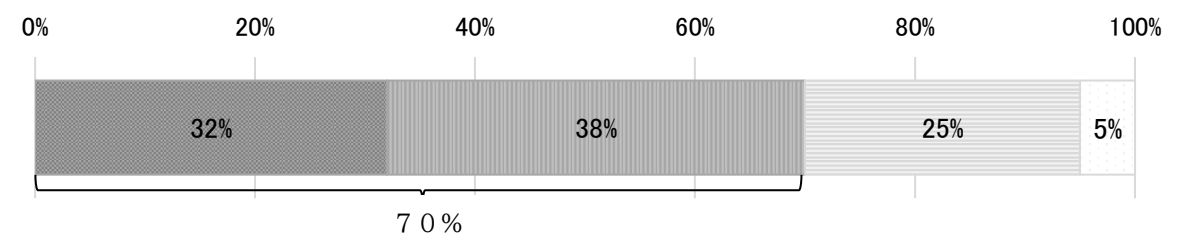


- ② 家庭学習頑張りカードを活用すること(3つの約束、時間、家庭学習内容例等)で目当てをもって家庭学習に取り組み、国語会、算数会に向けて頑張ることはできましたか。

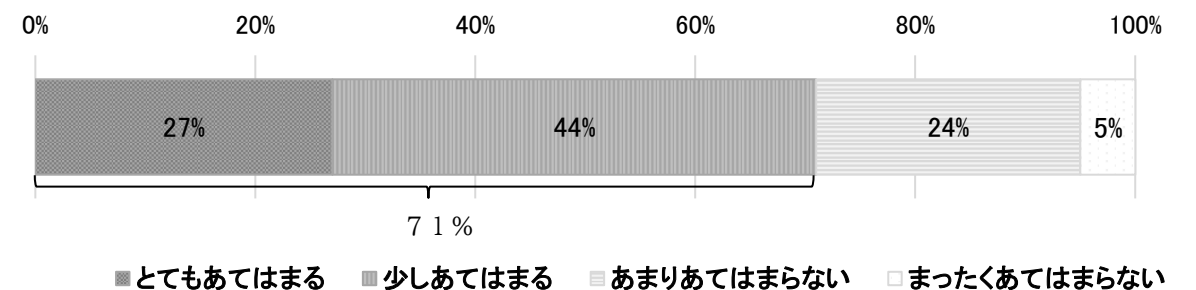


<保護者>

- ① 子供は、家庭学習頑張り週間に進んで学年×10分以上の家庭学習に取り組むことができましたか。



- ② 家庭で、子供が家庭学習頑張りカードを活用し、家庭学習を頑張ることができるよう、励ましたり一緒に取り組んだりしましたか。



○子供向けアンケート結果から

「とてもあてはまる」「すこしあてはまる」という回答
・設問①：79% ・設問②：87%

昨年度、学校と家庭が連携し、家庭でも学習する習慣を身に付けられるように、年間を通して家庭学習頑張り週間に取り組んだ。実施後、学校で一人一人が取組の成果や課題を振り返ったことが、よりよい学習習慣を身に付ける上で効果的であった。そのため、今年度も引き続き家庭学習に力を入れることとした。

子供が学習に自信をもてるように、子供の学習の実態に合わせて、国語会、算数会の問題を吟味し、国語会、算数会に向けて、家庭学習だけではなく、学校でもスモールステップで漢字や計算の小テスト等に取り組む場を設けた。また、週間の意味や取り組み方等を話し合い、一人一人が自分に合った目当てを立てたことで、学習意欲を持続させることができた。

また、望ましい学習習慣が分かる家庭学習カードや参考になる自主学習ノートを紹介し共有したり、目標の時間をクリアした人数を発表したりしたことも家庭学習を充実する上で効果的であった。子供一人一人の家庭学習に対する意識や、家庭学習の習慣が少しずつ定着してきたように思う。

設問①の回答については、79%と目標には達していない。今後も、家庭学習の取り組み方について、子供と話し合い、一人一人の学習時間が増えるよう目標設定するなど工夫しながら取組を継続し、家庭学習への意欲を高めていきたい。

○保護者向けアンケート結果から

「とてもあてはまる」「すこしあてはまる」という回答
・設問①：70% ・設問②：71%

家庭学習頑張りカードの「3つの約束」「時間」「家庭学習内容例」を土台として、望ましい家庭学習について話し合い、子供が自分の課題を明らかにしたことで、一日のタイムスケジュールや家庭学習週間の内容を自ら計画し、学習に取り組む姿がみられた。このように、学習の見通しをもつことで、自分の目当てに向かって1週間継続して取り組むことができた。

学校では、家庭学習頑張り週間中、毎日、家庭学習カードに目を通し、一人一人に合った励ましのコメントやアドバイスを入れたり、達成状況の確認をしてシールを貼ったりし、子供の意欲を持続させるよう努めた。また、子供の学習に取り組む様子を踏まえ、毎回カードに保護者に向けたメッセージやお願いを発信したことも効果的であった。

しかし、設問①については、子供の結果より、約10ポイント低い。子供はできていると感じていても、客観的には十分でないと考えられる。設問②については、家庭学習の習慣化には、家庭の協力が不可欠であるため、取組の周知を徹底したい。

今後は、より家庭と連携した取組を継続することで、子供が自信をもって家庭学習に取り組むことができたという思いをもち、よりよい学習習慣を身に付けられるようにしたい。

